

北緯40度

・そぞろある記



津波の犠牲者を追悼

明治や昭和の三陸地震津波などで犠牲となった方々を追悼する、津波記念日慰霊祭が3月3日、太田名部の「津波記念塔」前で行われました。

慰霊祭には、深渡宏村長、熊谷聰議会議長をはじめ役場・消防関係者、地区住民ら約50人が出席。風一つない穏やかな空気の中、午前8時

にサイレンが鳴り響き、皆さんは静かに1分間の黙とうをしました。その後参列者の皆さんが慰霊塔に献花し、津波で犠牲になった方々のめい福を祈りました。(写真)

慰霊祭はこれまでの津波避難訓練に代わり今年はじめて行われました。



普代満喫 気分最高

三陸ふだいモニターツアー(村観光協会・嵯峨政嘉会長)は2月25、26の両日、村内で行われ、鶺鴒(うさぎ)神楽の鑑賞や鉄山染、郷土料理、漁船クルーズなどの体験をしました。青森県八戸市などから20人が参加。2日目の漁船クルーズ(写真)ではあいにくの雨模様でしたが、太田名部漁港から野田村下安家付近まで、海からの雄大な景色を満喫。参加者の皆さんは「地域の皆さんの一生懸命な取り組みや親切さを感じ楽しかったです」と感想を話していました。

住民招き感謝の集い

鳥茂渡小学校(荒谷栄子校長、児童10人)は2月18日、同校体育館で感謝の集いを開きました。

集いには、児童と教職員、招待された地域住民ら約30人が参加。児童らはふるさと学習「とりも塾」で日ごろお世話になっている地域の一人ひとりに、手書きの感謝状をプレゼントしました。恒例の出店コーナーでは、はんでん姿の児童が、プラスチックのおもちゃ作りコーナー、手作りピザ、たこ焼きコーナーなどを出店し(写真)感謝の気持ちを表すと、招待者の皆さんは児童らのもてなしに終始感激していました。

